

つなぐ

神守中学校

令和5年度 第3学年 学年通信

No. 4

令和5年6月26日発行

修学旅行を終えて

天候にも恵まれ、3日間を予定通り無事に過ごすことができました。保護者の方には、持ち物の準備や送り迎えなど多くのご協力をいただき、ありがとうございました。おかげ様で、子どもたちにとって、充実した修学旅行となりました。今回は、企業が実際に取り組んでいるSDGsの内容を見聞きして学習してきました。これからの社会を生きる中で、さらにどのような取り組みが必要になってくるかを一人一人に考えてほしいと思います。以下に事後のふり返りの一部を紹介します。

きちんと事前に準備・計画することで電車のホームを間違えることがなくなったり、乗る電車を判断したりすることができ、スムーズに行動することができました。また、私がミスをして班の仲間が励ましてくれたことから、他人への思いやりや助け合いが仲間と活動するときに必要な不可欠だと思いました。(A組生徒)

修学旅行を通して、仲間と協力することを学びました。同じ班の人がスマホで駅までの行き方を調べたり、行く方向が違ったらすぐに声をかけたりしていて、協力することの大切さを学ぶことができました。今後の体育祭や文化祭などの行事で活かしていきたいです。(B組生徒)

東京や横浜の企業が行っている取り組みや建物、文化、雰囲気を知ることができました。班別分散で日本の中心地である東京を歩いてみると、周りからいろいろな言語が聞こえてきて、改めて国際交流の大切さを考えることができました。(C組生徒)

時間に余裕をもって行動することがとても大切だということが分かりました。時計係として、ディズニーでは、時間に気をつけつつ、みんなに呼びかけることができて良かったです。誰か1人に任せるとはではなく、みんなと協力したからこそ得られる喜びや達成感があるのだと感じました。(D組生徒)

今回、都会に足を踏み入れて必要だと感じたことは、判断力や主体性など、普段の学校生活で先生たちに教わることばかりでした。実際に自分たちで行動することで、そういった力が役立つことを実感することができました。(E組生徒)